

4-14 ウィンドウ運動

子どもたちに福音を



世界では、クリスチャンになった人の約70%が4歳から14歳までの間に決心をしている、という調査結果があります。日本でも、たとえその間に決心していなくても、子ども時代にキリストに出会い、その後受け入れた人も多いのではないのでしょうか。

そんな中、アメリカで4-14ウィンドウ運動という、キリストを受け入れる確率の高い4歳から14歳までの子どもたちに伝道しようという働きが始められました。この運動をする理由として、3つのPがあるそうです。

Potential (可能性)

子どもたちには可能性があります。彼らを教育することで、神様の働きが豊かになります。イエス様はこう言われました。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。止めてはいけません。……子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、入ることはできません。」

(マルコ10章14・15節) また、神さまはサムエルやヨシユア、ダビデ、エステルを、若いうちに召し出しました。

Priority (優先性)

伝道者の書12章には、「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ」とあります。子どもへの伝道はオプションではありません。子どもたちは未来の教会です。日本では今でもクリスチャン人口が1%を超えません。今まで優先順位を間違えていたのではないのでしょうか。予算も時間も割いて子どもたちに力を注ぐことが、必要だと思われま

Partner (パートナー)

子どもへのかかわりは一つの教会ではできないこともあります。地域に子どもが少ない、働き手が少ないという時には、地域の教会や教団で協力すれば成し遂げられることもあります。私たちが力を合わせて子どもへの伝道ができれば、どんなに大きなムーブメントにすることができるとは思

か。
この理念をもとに進められてきた運動はアメリカ国外にも広がり、アジアでは去年タイにて大きなカンファレンスが持たれました。そこへ参加した複数の日本人牧師や日本で活動している宣教師、ミッションスクールの教師が、超教派の働きとして日本でもこの運動を始められないかと、動き出

4-14 運動 今後のイベント

4-14 運動リーダーシップサミット

日時：2014年7月12日(土)

参加費：無料

会場：お茶の水クリスチャンセンター (OCC) 8F

参加対象者：教会教職者、CS スタッフ、ユースリーダー、また関心のある保護者、一般信徒

4-14 運動カンファレンス

日時：2014年11月24(祝)・25日(火)

参加費：未定

会場：未定

参加対象者：7月の参加者に加えて、4-14世代の子どもたちと引率の方々

- ・キッズプログラム、キッズミニストリーを体験する時間、さらにキッズミニストリーについて学ぶ時間、交わりとネットワークキングの時間を持つ予定です。

しました。

そして2014年4月14日、お茶の水クリスチャンセンターにて、初めての集会が開催されました。関東を中心に、子どものミニストリーにかかわる方々が集まり、この運動のビジョンについての説明を受け、日本における子ども伝道の大切さについて学び、共に祈る時が持たれました。FFJスタッフもその会に出席しましたので、その感想を記します。

ビジョンと祈りの 集いに参加して

FFJスタッフ 大塚 春香

子どもたちに福音を伝えることの重要性は今までも問われてきましたが、このように超教派の働きが大々的に持たれるのは初めてのように入ります。この働きの素晴らしい点は、子どもへの伝道に情熱を注ぐ数々の団体が協力し、教材や伝道の働きの情報を共有しようとしているところだと思います。

それぞれの教会や団体でどんなに素晴らしい働きをしても、その方法は他の教会には伝わらないものです。良い紙芝居がある、こんな賛美が人気だ、こんなスキットが効果的だ、と言った具体的な教材のことから、スタッフ教育に必要な聖書の知識、発達心理学や障がいを持つお子さんへの対応について、また教会内での子ども伝道への呼びかけの仕方など、知っていれば役立つ知識を持った方々は日本の教会に多数いるにもかかわらず、情報の共有がされずに来ました。

また、子ども伝道で困難にあった時に相談できる相手がいないのも、子ども担当者の悩みではないでしょうか。「一体どうしたら子どもたちが楽しんで教会に来てくれるのかさっぱりわからない……」、といて誰に相談すればよいのか皆目見当がつかない……、という教会の方々

は大勢いるように思います。

4-14ウィンドウ運動はそういった悩みを持つ方々にとって必要な、横のつながりを与えてくれます。牧師、教会役員、教会学校教師、一般信徒と立場はそれぞれあっても、子どもたちへ信仰を継承しようという重荷を共に担うものとして、励まし合い、教え合い、支え合っていく仲間が与えられるのです。

また、この集いではさまざまな教会での活動や、聖書からのメッセージ、そして分かりやすいアニメのプレゼンテーションがあり、子どもが心を開いている黄金期に伝道することが力ギであること、子どもの可能性を伸ばすのは大人の役割であること、そしてその子どもたちにも伝道の賜物があるのだということが熱く語られました。特に他の教会ですでに子どもたちが伝道をしているという証しは大きな励ましとなりました。

始まったばかりのこの活動が、今後どれだけ大きな役割を果たすかはまだまだ未知数ですが、大いに期待し、祈り、支えていきたいと願っています。

実際に子ども伝道に携わっている方々には、ぜひ次回イベントに出席し、横のつながりを広げていただければと思います。ともに、この国の未来を担う世代に福音を伝えていきましょう。

この活動の詳しい情報は、
www.facebook.com/414windowjapan
アニメーションで分かりやすい情報が
<http://japan.4to14window.com> をご覧ください。